

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	保健医療福祉総論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	通年	教室名	901,902,大教室
担 当 教 員	渡邊 清司、巽 圭太、齋藤 寛	実務経験と その関連資格	国立病院機構本部では臨床検査専門職として全国の機構病院の検査室を指導した。主に臨床検査部門臨床検査部門のマネジメントが専門。			
《授業科目における学習内容》						
臨床検査のみならず広く日本の医療や福祉について、行政やその土台となっている関連法について学ぶ。また就職活動に必要なスキル(履歴書、志望動機、自己PRの書き方等)を習得し、円滑に就職活動を行うための準備をする。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験、出席状況等を総合して評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 臨床検査学講座 保健医療福祉概論 (教科書)						
《授業外における学習方法》						
授業終了時に示す課題や演習を実施しておくこと。興味あるテーマについて仲間と議論することを奨励する。						
《履修に当たっての留意点》						
保健や医療・福祉の視点から広く臨床検査部門に関連する事項を取り扱う。新聞やニュース等で報道される関連事項について、興味をもって情報に接しておくことよ。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者の心理や医の倫理・医療従事者の心得を理解できるようになる(1)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。	
		各コマにおける授業予定	医の倫理と医療従事者の心構え			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者の心理や医の倫理・医療従事者の心得を理解できるようになる(2)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。	
		各コマにおける授業予定	患者の心理、ACPの実例			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	医学の歴史について理解できるようになる(1)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。	
		各コマにおける授業予定	医学史の概観			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	医学の歴史について理解できるようになる(2)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。	
		各コマにおける授業予定	日本の医学史、近未来の医療について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	病院における各部門の役割について理解できるようになる(1)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。	
		各コマにおける授業予定	病院の各部門の役割とチーム医療			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	病院における各部門の役割について理解できるようになる(2)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。
		各コマにおける授業予定	臨床検査技師の役割と関連法規		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	わが国の医療制度と供給体制について理解できるようになる(1)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。
		各コマにおける授業予定	医療法の概要		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	わが国の医療制度と供給体制について理解できるようになる(2)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。
		各コマにおける授業予定	医療提供体制の区分と役割、医療の種類		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	わが国の医療制度と供給体制について理解できるようになる(3)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。
		各コマにおける授業予定	少子高齢化問題と地域包括ケアシステム		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	わが国の医療制度と供給体制について理解できるようになる(4)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。
		各コマにおける授業予定	診療保険制度		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床検査技師に必要な読解力を習得することができる。(1)	配布資料	特になし。
		各コマにおける授業予定	文章読解力		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床検査技師に必要な読解力を習得することができる。(2)	配布資料	特になし。
		各コマにおける授業予定	文章読解力		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職活動に必要なスキルを習得することができる。(1)(履歴書の書き方)	配布資料	特になし。
		各コマにおける授業予定	履歴書の書き方及び注意点について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職活動に必要なスキルを習得することができる。(2)(志望動機の書き方)	配布資料	特になし。
		各コマにおける授業予定	志望動機を書く際の文章構成及び注意点について		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職活動に必要なスキルを習得することができる。(3)(自己PRの書き方)	配布資料	特になし。
		各コマにおける授業予定	自己PRを書く際の文章構成及び注意点について		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	保健医療福祉総論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	通年	教室名	901,902,大教室
担 当 教 員	渡邊 清司、巽 圭太、齋藤 寛	実務経験とその関連資格	国立病院機構本部では臨床検査専門職として全国の機構病院の検査室を指導した。主に臨床検査部門臨床検査部門のマネジメントが専門。			
《授業科目における学習内容》						
臨床検査のみならず広く日本の医療や福祉について、行政やその土台となっている関連法について学ぶ。また就職活動に必要なスキル(履歴書、志望動機、自己PRの書き方等)を習得し、円滑に就職活動を行うための準備をする。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験、出席状況等を総合して評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 臨床検査学講座 保健医療福祉概論 (教科書)						
《授業外における学習方法》						
授業終了時に示す課題や演習を実施しておくこと。興味あるテーマについて仲間と議論することを奨励する。						
《履修に当たっての留意点》						
保健や医療・福祉の視点から広く臨床検査部門に関連する事項を取り扱う。新聞やニュース等で報道される関連事項について、興味をもって情報に接しておくことよ。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職活動に必要なスキルを習得することができる。(4)(社会人としてのマナー)	配布資料	特になし。	
		各コマにおける授業予定	社会人として必要なマナーについて			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職活動に必要なスキルを習得することができる。(5)(面接)	配布資料	特になし。	
		各コマにおける授業予定	就職活動の面接に必要なスキルについて			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職活動に必要なスキルを習得することができる。(6)(一般常識)	配布資料	特になし。	
		各コマにおける授業予定	就職活動に必要な一般常識について			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職活動に必要なスキルを習得することができる。(7)(一般常識)	配布資料	特になし。	
		各コマにおける授業予定	就職活動に必要な一般常識について			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床検査技師になるために必要なスキルを習得することができる。	配布資料	特になし。	
		各コマにおける授業予定	臨床検査技師になるために必要なスキルについて			